

指導と評価の年間計画(シラバス)

令和 4 年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	単位	年次	1	年次
使用教科書	「言語文化」(数研出版)								
副教材等	高校国語入門基本(第一学習社出版)・カラー版新国語便覧(第一学習社出版)								

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

日本古来の言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、現代に通ずる言語感覚を磨き、言葉を効果的に使える力を養う。
 「知って気付き・知識は過渡期・吸うのは空気」を根底に日本文化の変遷を追う。

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学年末に観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)にまとめます。
 また、学年末に観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評価(1～5の5段階)にまとめます。

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期中間	学び直し・受け継がれる文化との接触	『高校国語入門 基本』を用い、中学校で学んだ国語の知識を総復習。日本古来の文化に作品を通じて触れる。 ・「宇治拾遺物語」 ・「高校国語入門 基本」 ・カラー版新国語便覧	a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 b:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 c:言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	定期考査 小テスト (文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。)	定期考査 小テスト (「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。)	振り返りシート 授業態度 提出物 (積極的に作品世界を自身の脳内に構築し、新たな知識を知ること、驚き・ドキメキ・わくわくドキ状態となっている。)
一学期期末	受け継がれる古文(明日は明日の風が吹く)	近代小説とその典拠となった古典文学との相違点を探り、その相違が近代小説にどのような効果をもたらしているかを考える。 ・「今昔物語集」 ・「羅生門」 ・カラー版新国語便覧	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 b:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c:言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	定期考査 小テスト (言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。)	定期考査 小テスト (「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。)	振り返りシート 授業態度 提出物 (「羅生門」と「今昔物語集」の差異を見極め、生きる辛さを考察し、前向きに過ごそうとしている。)
二学期中間	「ことば」を吟味する(ギヴ・ミー・ワード)	作品の内容を踏まえて、辞書の編集方法を考える。 ・「伊勢物語」 ・「舟を編む」 ・カラー版新国語便覧	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 c:言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	定期考査 小テスト (我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。)	定期考査 小テスト (「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。)	振り返りシート 授業態度 提出物 (進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。)

<p>二学期期末</p>	<p>記録する文学（付録されたプレゼント）</p>	<p>戦争文学の背景や舞台を調べ、その作品が描いているものについて理解する。 ・「沖縄の手記から」 ・カラー版新国語便覧</p>	<p>a: 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b: 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 c: 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>定期考査 小テスト (我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。)</p>	<p>定期考査 小テスト (「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができている。)</p>	<p>振り返りシート 授業態度 提出物 (近現代に書かれた戦争文学を積極的に調査し、学習課題に沿って理解しようとしている。)</p>
<p>学年末</p>	<p>語感を磨く（悪寒が走る）</p>	<p>作品の内容を踏まえて、題名に込められた意味を把握する。 ・「側転と三夏」 ・カラー版新国語便覧</p>	<p>a: 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 b: 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 c: 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>定期考査 小テスト (文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。)</p>	<p>定期考査 小テスト (「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。)</p>	<p>振り返りシート 授業態度 提出物 (進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って内容を把握することができ、感動のあまり悪寒が走っている。)</p>